

佐佐木村太郎 きりぎりす 小説家。明治二十九年二月二十一日岡山縣生れ、  
 昭和五十八年十一月十日没（九〇六一三）。本名濱岡善徳 いさよ。別名佐々木  
 村太郎、寺島莊一。中央大學中退。捕物作家クラブ幹事、日本児童文  
 藝家協会理事、素行會實行委員長、中央義士會理事など。

著書『山鹿素行』(寺島莊一名、昭和十六年四月五日教材社)、『武

教』(山鹿素行) (同、昭和十八年二月二十八日三省堂)、『日本の交

通史・交通のつりかめり』(同、昭和二十四年五月二十日清水書

院)、『浅香捕物帖河童地獄』(佐々木村太郎名、昭和二十八年二月十

五日同光社磯部書房)、『葛首むすのし浅香ま水捕物帳』(同、昭和

二十九年八月二十五日桃源社)、『恋深のくら剣法』(同、昭和二十

九年十一月十五日文芸図書出版社)、『白臘処女』(同、昭和二十年

二月一日同光社)、『おぼろのど』(同、坂ノ上信夫共編纂・校訂、

昭和二十年八月十五日歴史民俗資料研究会「類聚故事集」)、『見

童文學の展望—児童文學II』(同、合著・日本児童文芸家協会編、昭

和二十一年九月二十日角川書店「角川新書」)、『東西の慢話』(同、

合著・京都新聞編集部編、昭和二十

一年十一月二十日河出書房「河出新

書」)、『愛深浪人』(同、昭和二十

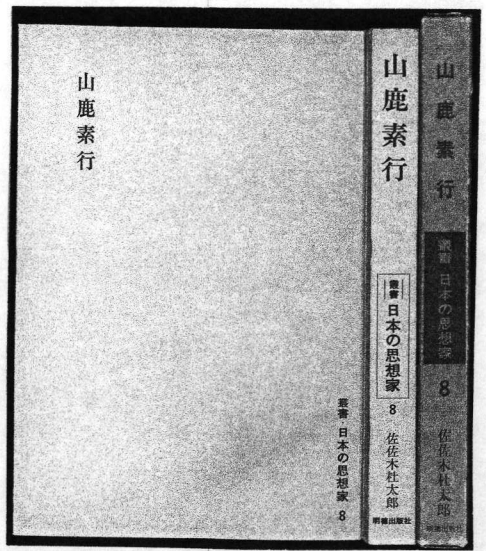
一年二月十日東方社)、『大江戸

八景』(同、昭和二十二年二月二十

日書書房)、『若岩英樹子』(同、

昭和二十五年八月二十日大和出版会 株

社)、『国字分各集上下』(同、校止、昭和二十七年九月稀観本復写



刊行会）、『小倉實澄伝』（昭和四十二年六月二十日小倉實澄顕彰  
会）、『山鹿素行』（昭和五十二年九月二十日明德出版社「叢書・日  
本の思想家」）等。